



地域再生 協議会だより

百合が丘 2 - 29 - 6 (老人憩いの家) 59 - 9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

新ステージ 4 年目へ 新部会員募る



再生協議会は H31 年度の新事業部会員の募集を始める。設立から 4 年目を迎えるのを機に、県公社部会を除く 5 部会の新発足を決定。中心メンバーを早めに固め、新年度早々から事業活動をスタートさせる。地域内の多くの方々の参画を期待しており、3 月にも取りまとめに入る。

募集対象の 5 部会のうち、全くの新設は空き家と移動サービス支援検討部会。空き家対策、交通弱者の買物、通院支援などは問題の難しさから、
(続きは裏面)

やまゆり合唱団も新団員募集

結成から 3 年目を迎える「にのみや やまゆり合唱団」(現 70 名)も 31 年度の団員を募集する。



指導は昨年と同じく桑田葉子、一石洋子さんが、ピアノは高寺真美、岩崎千恵さんが担当。百合が丘児童館を拠点に月 2 回練習する。新メンバーの締め切りは 3 月中旬。発表曲は「ふるさと」

「誰も寝てはならぬ」「ボヘミアンラプソディ」、年会費は 3 千円とする方向で調整中。今年初めには、今年度 4 度目の場であるニューイヤーコンサート(ラディアン)に子供たちと一緒に出演し、北原白秋の童謡メロディーを歌った(写真)。

取り組みを先延ばししてきた。地域交流、音楽活動、古民家・散策路部会はこの2-3年の事業を見直したうえで更なるステップアップを狙っている。協議会には現在、全部会で100人近くが名を連ねているが、部会の一新に合わせてさらに強化したい考えだ。

二宮町は協議会の3年計画を国に提出した。この計画を町予算にも盛り込み、協議会の活動成果を全町に波及させたいとしている。協議会も部会長会議を開いて新年度事業を詰めており、4月早々にも事業計画・予算を正式決定する。

(事業、部会活動の問合せは協議会事務局へ、遠慮なくどうぞ)

団地再編の中間報告会

当協議会、百合が丘自治会が県住宅供給公社に要請していた「団地再編の進ちよく説明会」が2月10日(日)13時半から、百合が丘児童館で開かれます。

県公社が3年前に着手した中層住宅28棟を18棟にする計画の進ちよく状況、廃止棟跡の利用などについて説明があります。公社住宅のあり様は百合が丘地区に大きな影響を及ぼします。近隣の方へもお声がけのうえ、ご出席ください。

パネルディスカッション ——空き家の利活用と街づくり

「どうする？ 百合が丘」

2月3日(日) 14時~16時半 百合が丘児童館

協議会は国土交通省の助成の下、昨年10月から進めてきたく人と住まいの生涯学習>シリーズのまとめとして、パネルディスカッション「どうする？ 百合が丘」を開催する。加藤仁美・東海大学教授のグループが昨秋実施した百合が丘の居住実態調査、このシリーズに関わってきた薮健夫・県住宅供給公社前専務理事の問題提起を下敷きに、原大祐氏(地域再生プロデューサー)、高橋哲也氏(元百合3地区長)の4人が議論する。

居住実態調査では、親族の近居など県内他地区とは違ったデータが出たという。また、原氏は百合が丘の望ましいあり方として「戸建て、公社エリアの循環居住の促進」を提案。薮氏は「空き家を出さないためのリノベセンター構想」について提起する。いずれも賃貸、戸建てエリアとも空き家が目立つ百合が丘地区の再生に焦点を当てており、参加者との意見交換を重視した進め方にする。

<3月末までスケジュール>

- 2/2(土) 岡村 昭寿氏(再生協議会会長) 「百合が丘ニュータウン開発史」
 - 2/16(土) 中山史奈子氏(町生涯学習課・文化財担当) 「写真と映像でたどる昭和の二宮」
 - 3/2(土) 松本 岩太郎氏(GNP) 「二宮の石仏」
 - 3/16(土) 橘川 卓司氏(町文化財保護委員) 「一色のいま・むかし」
 - 3/30(土) 勝山 輝男氏(生命の星・地球博物館学芸員) 「神奈川県植物誌と二宮の植物」
- いずれも、一色小南棟地域こうりゅうルームで。10:00~12:00
- 2/11(月) 「断熱・省エネのためのワークショップ」
県公社住宅25号棟集合 10:00~16:00
 - 3/17(日) 「二宮創生——地域づくりシンポジウム」 名和田法政大教授、村田町長ほか
町民センターホール、時間は調整中